

浜松市の中山間地域データ

中山間地域からの水の供給量*

※(天竜川水系 数値は最大)



お風呂…一般家庭の浴槽に入る水(200ℓ)／
 経済産業省資源エネルギー庁「家庭の省エネ大事典2012」から

森林の持つ機能の評価額*

年間およそ… **4,000億円**

水質の浄化や水資源の貯留、二酸化炭素の吸収など森林の持つ公益的な機能を日本学術会議の試算をもとに評価算出した場合。

民俗芸能の宝庫



浜松市無形民俗文化財保護団体……

12団体

うち国または県・市の指定の無形民俗文化財は8団体。
 「平成25年10月10日浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会」参加団体数から

※「浜松市森林・林業ビジョン」(平成19年3月)から

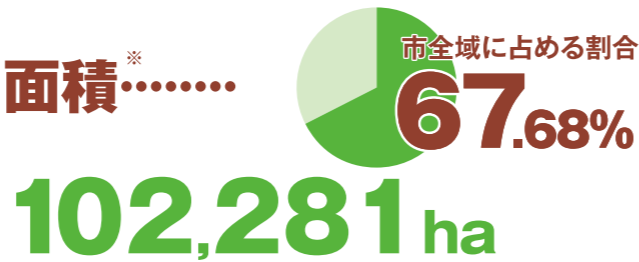
「中山間地域」とは…

まとまった平坦な耕地の少ない平地の周辺部から山間地までの地域。浜松市では、中山間地域振興計画対象地域の天竜区全域と北区引佐町の北部(旧鎮玉村および旧伊平村)です。

[大字:伊平・川名・渋川・四方浄・田沢・宍荷・西久留女木・西黒田・東久留女木・東黒田・別所・的場]



面積……



森林面積…



人口……



「住民基本台帳による人口と世帯数」(平成25年10月1日現在)から

私たちのまち、中山間地域を想う。

この恵みは、どこからくるの？

一方で、少子化、高齢化に伴う老老介護やコミュニティ機能の低下など、やがて都市部にも起こるであろう生活の中の諸問題はこの「中山間地域」で先行して起っています。社会単位としての維持が危ぶまれている集落も存在する中、この豊かな地域を守るために「ひとりの浜松」として私たちは今、何を考えて行動するべきなのでしょう。今回の「あかるい浜松」では、その道筋を考えてみました。

山と海、人口や産業の集積地と集落機能が衰退しつつある地域を併せ持ち「日本の縮図」といわれる浜松市。その北部に広がる奥深い森林を有する地域が、中山間地域です。市を潤す水源を有し、豊かな水量と電力を供給してくれています。また、自然の持つ機能を発揮し、二酸化炭素の吸収、動植物の生態系維持や市民の癒やしの場の提供など、その恵みはさまざま。都市部でも大きな恩恵を受けています。

